

地球温暖化防止実行計画 I 平成 25 年度実績値

平成 25 年度の町内公共施設等の温室効果ガス総排出量実績値とその他の削減目標実績値

(1) 役場庁舎と庁舎以外の機関を含めた全ての組織及び施設（指定管理者制度、外部委託施設も含む）

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成 20 年度 2,725 トン

年度	排出量 (t)	平成 20 年度比
平成 23 年度	1,455	46.6%減
平成 24 年度	2,489	8.7%増
平成 25 年度	2,841	4.3%増

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） * 学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成 20 年度 148 万枚

年度	使用枚数 (万枚)	平成 20 年度比
平成 23 年度	193	30.4%増
平成 24 年度	176	18.9%増
平成 25 年度	182	23.0%増

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成 20 年度 87,460m³

年度	使用量 (m ³)	平成 20 年度比
平成 23 年度	39,967	54.3%減
平成 24 年度	63,554	27.3%減
平成 25 年度	68,725	21.4%減

(2) 被災施設等（給食センター、図書センター、遠山保育所、テニスコート、第1スポーツ広場、アクアリーナ、町民体育館、仮設住宅）を除外した施設

■温室効果ガス（二酸化炭素）の排出実績

基準年度：平成20年度 1,678トン

年度	排出量 (t)	平成20年度比
平成23年度	1,446	13.8%減
平成24年度	1,787	6.5%増
平成25年度	1,858	10.7%増

■その他の削減目標実績値（コピー用紙） * 学校のコピー用紙は除く

基準年度：平成20年度 146万枚

年度	使用枚数 (万枚)	平成20年度比
平成23年度	191	30.8%増
平成24年度	171	17.1%増
平成25年度	171	17.1%増

■その他の削減目標実績値（上水道使用量）

基準年度：平成20年度 48,128m³

年度	使用量 (m ³)	平成20年度比
平成23年度	39,943	17.0%減
平成24年度	39,194	18.6%減
平成25年度	33,701	30.0%減

(3) 実績概要

上記のように温室効果ガス排出量は、全施設での実績値は4.3%増加しており、被災施設等を除外した数値は、10.7%増加している状況です。平成27年度における二酸化炭素排出量目標値の2,588トンに対し、平成25年度は2,841トンと、目標値より253トン増加(9.8%増)している状況であることから、目標達成にむけ、二酸化炭素排出量削減の取組状況を見直す必要があります。

一方、平成23年度より二酸化炭素削減、低炭素社会づくりによる、環境にやさしい町づくり推進のために取り組んでいる「みやぎ環境交付金事業」で、438基の街路灯をLEDに交換し、22トンの二酸化炭素排出量の削減を図りました。

また、町民プールの燃料を重油から、都市ガスへ転換したことで78トン、22%の二酸化炭素が削減されました。

二酸化炭素が増加した施設(増加率)については、役場(64%)、蓮沼苑(107%)、ゆめクラブ管理棟(1,907%)、サッカースタジアム(287%)、まつかぜ児童館(252%)、松ヶ浜小学校(41%)、七ヶ浜中学校(41%)、野球場(53%)、テニスコート(581%)となっています。増加の要因として、震災に伴う事務量の増により電気量やコピー用紙の増加が主であります。

また、蓮沼苑はポンプ圧送管の修繕に伴うもの、ゆめクラブ管理棟は、仮設住宅周辺の街路灯設置と、車両増によるもの、サッカースタジアムは、イベントの増加と思われます。

松ヶ浜小学校は、体育館開放に伴う増、七ヶ浜中学校は、仮設校舎エアコン設置に伴う電気量の増、テニスコートとまつかぜ児童館は、新設や増築に伴う電気量の増が理由と思われる。

(4) 今後の課題

平成27年度における二酸化炭素排出量の目標値達成のため、全職員が環境に関する認識を深める事が重要となり、例えば昼休みの消灯、廊下等不要な照明の消灯、空調の適温調節などの積極的行動を心がけることが大切です。また、二酸化炭素排出量以外の削減目標である、コピー用紙が113%増と突出しているため、ミスプリントをなくし、両面コピーや裏面再利用の徹底に努めていただきたいと思います。さらに太陽光発電システム導入により、再生可能エネルギーを推進するなど、地球にやさしいまちづくりのための事業を積極的に実施したいと考えます。